

広島大学文書館の開館

広島大学文書館 菅 真城

2004年4月、広島大学に「広島大学文書館」が設置されました。「文書館は、広島大学（以下「本学」という。）の学内共同教育研究施設として、本学にとって重要な文書の保存・整理並びに大学の歴史に関する記録の収集・整理・保存及び公開を行うとともに、関連する分野の教育研究を行うことを目的と」しています（広島大学文書館規則第2条）。日本の大学に「文書館」が置かれるのは、京都大学大学文書館（2000年設置）に続いて広島大学文書館が二番目になります。広島大学文書館は、広島大学50年史編集室を前身としています。この点、自治体史編纂室から文書館へという自治体文書館と似通った設立経緯を有しています。しかし、広島大学50年史編纂事業は現在も継続中であり、広島大学としては年史編纂の後始末としてではなく、大学運営上必要な組織として文書館を設置したことになります。

広島大学文書館のなかには、公文書室と大学史資料室とが置かれます。公文書室では、大学が作成した事務文書（法人文書）のうち保存期間が満了したものについて、評価・選別を実施し、保存することとしたものについて整理・公開します。広島大学文書館は、独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施行令に基づき、歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料の適切な管理を行う施設として、総務大臣の指定を受けています。大学史資料室では、広島大学に関わる個人文書や前身校に関する資料等、大学史に関わる資料を主として取り扱います。広島大学初代学長である森戸辰男の関係文書は、森戸辰男記念文庫として管理しています。

資料の収集・整理・保存・公開や展示などの普及活動の他に、「大学」の文書館として、教育活動を行っています。自校史教育「広島大学の歴史」は、好評を博しています。

2004年11月7日には、大濱徹也（国立公文書館理事）・伊藤隆（政策研究大学院大学教授）の両先生をお招きして、「文書館における学問と社会的役割」

をテーマに設立記念シンポジウムを開催しました。大濱先生からは「貌としてのアーカイブズ」、伊藤先生からは「個人文書の現状と課題」と題する講演をいただきました。シンポジウムの内容については当館紀要に掲載しますので、ご一読いただければと思います。

- ・機関名：広島大学文書館
- ・所在地：〒739-8524 東広島市鏡山1丁目1-1
- ・電話／F A X 082-424-6050／082-424-6049
- ・メールアドレス：bunsyokan@office.hiroshima-u.ac.jp
- ・ホームページ：http://www.hiroshima-u.ac.jp/hua/
- ・開館日：月曜日・火曜日・水曜日（祝日、12月28日～翌年1月4日を除く）
- ・開館時間：9:30～16:30
- ・交通：JR西条駅前からバス「広島大学」行に乗り、「広大二神口」バス停下車
- ・開館年月日：2004年4月1日
- ・組織：館長（兼任1）
 - ├── 公文書室(1) この他に事務職員1
 - └── 大学史資料室(1) アルバイト8
 森戸辰男記念文庫
- ・建物：鉄骨鉄筋コンクリート造地上2階の教育学部音楽棟の1階部分の一部を使用。延床面積591m² 閲覧室（事務室を兼ねる）40m² 資料室（館長室・公文書室・大学史資料室）135m² 書庫222m²
- ・主な所蔵資料：公文書（法人文書） 森戸辰男関係文書
旧制広島高等学校資料 広島大学50年史（25年史）編纂資料

